

上宮寺通信

第二十七号

数字に込められた願い

「暑い、暑い」と文句を言っていた口から、最近は「寒い、寒い」との言葉が出るようになってきました。人間というのは本当に勝手なものです。

さて、先日、コロナ禍ではありませんが、上宮寺前々坊守の3回忌法要を勤めることができました。

一般的に法事は3と7のつく年に勤めると覚えます。一周忌は別として3回忌、7回忌、13回忌、17回忌、23回忌、27回忌…、さらには43回忌、47回忌と勤め、50回忌をもって弔い上げというのが古くから伝えられてきたものです。

しかし、なぜ3と7のつく年

に勤めるのでしょうか？

法事を通して、仏様が私たちに願っていること、伝えたいと思っていることがあります。そして、それはこの3と7という数字にも込められています。その願いを聞き取る場が法事なのです。

まず、〃3〃という数字は2を一つ超えた数字です。仏教の言葉に「有無の邪見」という言葉があります。有るということに固執したり、無いということに固執したりする見方です。

簡単にいえば、人間はいつも勝つか負けるか、損か得か、良いか悪いか、そういう見方で物事を見ているということです。

人間づきあいでも、自分にとって都合がいい人はなるべくお

近づきになりたいたいと思うし、一緒にいるのが嫌と思えば疎遠になつていく。都合に合う、合わないで、一喜一憂する生活をしているのが私たちなのです。

そういう都合の良し悪しで生きる世界を超えてほしい。これが仏様の私たちに願われていることなのです。

次に〃7〃という数字。これも6を一つ超えた数字です。6というのは「六道」という言葉がありますように、迷いの世界を表します。地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天。私たちは六道輪廻とって、この六つの迷いの世界を抜け出ることなく巡りめぐっているのです。

この六道の世界を超える世界に出会ってほしい。そして六道

のただなかに生きる自分自身の姿を見つめてほしいという仏様の願いが7という数字には込められています。

「有無の邪見」に右往左往している私自身を見つめさせていただく、「六道」の迷いの世界のただ中で愚痴や不平不満を募らせて生きている私自身を見つめさせていただく。それが法事を3と7のつく年に勤めるということに込められた意味といただいています。



◆行事案内

上宮寺の行事

報恩講

11月8日(日)午前10時

法要 引き続き 法話

法話 伊奈祐諦師

(西尾市安楽寺住職)

※正午頃終了予定です。

※午前だけの法要といたします。

お斎(食事)、呈茶はございませんのでご了承ください。

※感染予防のため、マスクの着用にご協力いただきますようお願いいたします。

※今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては変更する場合があります。

【修正会について】

毎年、元旦の午後2時より行っていました修正会ですが、来年は中止とさせていただきます。

修正会は行いませんが、元旦の午後1時〜3時の間、本堂ならびに納骨堂を開放いたしますので、どうぞ年の始めに上宮寺にご参詣ください。



東本願寺 報恩講

11月21日(土)〜28日(土)

名古屋別院 報恩講

12月13日(日)〜18日(金)

◆話題あれこれ

○毎年、ビンゴ大会で盛り上がる元旦の修正会も、密が避けられないということやむなく中止とさせていただきます。上記の時間自由に参拝できるようにいたしますので、ぜひお参りください。

○東別院の報恩講もコロナ禍で行事等が変更となっております。当初、12月17日夜の「リレー法話」で住職がお話をさせていただく予定でしたが、中止となりました。

○先月号でお知らせした住職が担当させていたたく11月16日の東別院の定例法話は予定通りです。午前11時10分からと午後1時から二座で各30分です。

○だんだんと寒くなってきました。体調を崩さぬよう、くれぐれもご自愛ください。

【雑感】

先日行われたプロ野球ドラフト会議で、中日ドラゴンズは中大京高校の高橋投手を1位指名しました。これで根尾選手、石川選手に続いて3年連続で高校野球界の目玉選手を獲得したことになります。将来、高橋投手が投げて、根尾選手、石川選手が守り、打つ。そんな黄金期の再来を夢見るドラゴンズファンも多いと思います。でも、ドラゴンズは高校出の選手をあまりうまく育てていないイメージが…。ぜひとも、そのイメージを払拭するような活躍をしてもらいたいです。(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金二丁目十九番十五号

☎052-871-0547